

2010年1月29日

防衛省南関東防衛局長 深山 延暁 殿

米海軍厚木基地所属の戦闘攻撃機F A 1 8 Eスーパーホーネットからの  
綾瀬市住宅地への同機部品の落下事故についての申し入れ

日本共産党神奈川県委員会 委員長 小池 潔  
元参議院議員 はたの君枝  
横浜市神奈川区西神奈川 1-18-12  
電話 045(432)2101

米海軍厚木基地は、1月28日午後1時頃、厚木基地を拠点とする第27戦闘攻撃飛行隊に所属する戦闘攻撃機F A 1 8 Eスーパーホーネットの部品鉄パイプが、綾瀬市大上の住宅ベランダに落下するという事故が発生したことを発表した。落下物は、長さ56.5cm、直径3cmのパイプ状の金属部品であることが明らかにした。この部品が、住宅の雨どいを突き破り2階ベランダにあった窓ガラスを割った。米軍の発表では、けが人はなかったとのことであるが、ベランダで防音工事作業中の男性を直撃したら、重大な人身事故になったことは明らかである。これらのことを考えるならば、今回の米軍機による部品落下事故は、きわめて重大な事故であると言わざるをえない。

住宅地における米軍機の落下事故は、昨年2月17日にも綾瀬市で発生しているなど、これまで何度となく繰り返されてきたが、今後このような事故が繰り返されるならば、重大事故につながる恐れがある。

日頃から米軍機の爆音に悩まされている住民は、このように度重なる事故に対し、不安と怒りを広げている。県民・市民の不安と恐怖は計り知れないものであり、防衛省は、米軍に対し厳重に抗議することを強く要請するものである。

今後、このような事故を二度と発生させないために、次の点を緊急に米軍に強く要請するよう申し入れる。

1. なぜこのような落下事故が発生したのか、原因を徹底究明し、責任の所在をあきらかにするとともに、その結果を公表すること。
2. 落下事故を起こした軍用機との同型機は、原因が究明されるまで飛行を中止すること。
3. 問題の根本的な解決のためにすべての訓練を直ちに中止し、厚木基地を撤去・返還すること。

以 上

なお、冒頭にはたの元参議院議員より米軍から被害者への謝罪を強く求めることを要請した。